

地域リハビリテーション支援センター指定（令和2年4月）に係る調査票

医療機関名：初台リハビリテーション病院

記入年月日：令和 元年 10月 10日

1 病院の概要	
所在地	東京都渋谷区本町三丁目53番3号 (区西南部 次医療圏)
開設年月日	平成14年 6月 1日
設置目的	東京都23区内では急速に進む高齢化に対応したリハビリテーション医療サービスが不足し、特に回復期リハビリテーション医療は不十分な状況下、回復期及び地域リハビリテーションの推進を目的に設立。 初台リハビリテーション病院では、急性期病院から発症後2ヶ月以内に患者さまを受け入れ、住み慣れた地域や自宅で輝いて生活していただくために、十分な回復期のリハビリテーション医療サービスを提供する。
診療科目	リハビリテーション科、神経内科
指定医療	
病床数	一般病床 173床 (うちリハビリ専門病床 173床)
訪問・通所リハビリ	■訪問リハビリ (■医療保険■介護保険) ■通所リハビリ (介護保険)
併設施設	

2 指定要件の充足状況																																																													
① 診療体制																																																													
地域におけるリハビリテーションの拠点病院としての役割を果たすことのできる専門的医療体制を有すること																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th colspan="2">平成31年度・令和元年度 (4月から9月まで)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">医療従事者</td> <td rowspan="2">専従医師</td> <td>常勤</td> <td>13 名</td> <td>常勤</td> <td>11 名</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td>10 名</td> <td>非常勤</td> <td>11 名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(うちリハ 専門医)</td> <td>常勤</td> <td>4 名</td> <td>常勤</td> <td>7 名</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td>0 名</td> <td>非常勤</td> <td>0 名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">理学療法士</td> <td>常勤</td> <td>82 名</td> <td>常勤</td> <td>88 名</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td>0 名</td> <td>非常勤</td> <td>0 名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業療法士</td> <td>常勤</td> <td>71 名</td> <td>常勤</td> <td>69 名</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td>0 名</td> <td>非常勤</td> <td>0 名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">言語聴覚士</td> <td>常勤</td> <td>35 名</td> <td>常勤</td> <td>34 名</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td>0 名</td> <td>非常勤</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ソーシャルワーク従事者</td> <td>常勤</td> <td>16 名</td> <td>常勤</td> <td>16 名</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td>0 名</td> <td>非常勤</td> <td>0 名</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度		平成31年度・令和元年度 (4月から9月まで)		医療従事者	専従医師	常勤	13 名	常勤	11 名	非常勤	10 名	非常勤	11 名	(うちリハ 専門医)	常勤	4 名	常勤	7 名	非常勤	0 名	非常勤	0 名	理学療法士	常勤	82 名	常勤	88 名	非常勤	0 名	非常勤	0 名	作業療法士	常勤	71 名	常勤	69 名	非常勤	0 名	非常勤	0 名	言語聴覚士	常勤	35 名	常勤	34 名	非常勤	0 名	非常勤	1 名	ソーシャルワーク従事者	常勤	16 名	常勤	16 名	非常勤	0 名	非常勤	0 名
	平成30年度		平成31年度・令和元年度 (4月から9月まで)																																																										
医療従事者	専従医師	常勤	13 名	常勤	11 名																																																								
		非常勤	10 名	非常勤	11 名																																																								
	(うちリハ 専門医)	常勤	4 名	常勤	7 名																																																								
		非常勤	0 名	非常勤	0 名																																																								
	理学療法士	常勤	82 名	常勤	88 名																																																								
		非常勤	0 名	非常勤	0 名																																																								
	作業療法士	常勤	71 名	常勤	69 名																																																								
非常勤		0 名	非常勤	0 名																																																									
言語聴覚士	常勤	35 名	常勤	34 名																																																									
	非常勤	0 名	非常勤	1 名																																																									
ソーシャルワーク従事者	常勤	16 名	常勤	16 名																																																									
	非常勤	0 名	非常勤	0 名																																																									
医療施設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設基準</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>■脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■運動器リハビリテーション料 (I)</td> </tr> </tbody> </table>	施設基準			■脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)		■運動器リハビリテーション料 (I)																																																						
施設基準																																																													
	■脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)																																																												
	■運動器リハビリテーション料 (I)																																																												
※指定後の診療体制や地域支援を実施する専門スタッフの充足予定等を記入してください。																																																													
<p>センター事業については、リハビリテーション医3名、看護師3名、理学療法士3名、作業療法士1名、言語聴覚士1名、社会福祉士2名、事務2名にて定例会議を行い、事業の企画、運営を行っている。</p>																																																													

地域リハビリテーション支援事業 実施計画書

I 事業実施体制等					
1	医療機関名				
	医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院				
2	二次保健医療圏名				
	区西南部				
3	事業実施予定年月日				
	令和2年4月1日から令和5年3月31日まで				
4	事業実施予定地域 ※区市町村名を記入してください				
	二次保健医療圏内	二次保健医療圏外			
	渋谷区、世田谷区、目黒区	なし			
5	地域リハビリテーション支援センターの運営体制（予定）				
	設置場所	初台リハビリテーション病院内			
	職種・人数 (R2.4.1現在)	・医師	常勤：3名 非常勤：名	・言語聴覚士	常勤：1名 非常勤：名
		（うちリハ専門医）	常勤：3名 非常勤：名	・ソーシャルワーカー等	常勤：2名 非常勤：名
		・理学療法士	常勤：3名 非常勤：名	・事務職員	常勤：2名 非常勤：名
・作業療法士		常勤：1名 非常勤：名	・その他	常勤：3名 非常勤：名	
予定する連携施設 ※連携施設が複数ある場合は、別紙による説明可 連携予定 連携予定施設名称・所在地・連携内容					
6	有	(医療・介護施設名) (所在地) (連携内容) 在宅総合ケアセンター成城 世田谷区祖師谷3-8-7 世田谷区における幹事会開催 世田谷区研修会の企画、運営、講師派遣			
	無				
予定する協力施設 ※協力施設が複数ある場合は、別紙による説明可 協力予定 協力予定施設名称・所在地・連携内容					
7	有	(医療・介護施設名) (所在地) (協力内容) 別紙（02事業計画添付資料I-7（協力施設名簿））参照			
	無				

【都におけるリハビリテーション医療推進の方向性（東京都保健医療計画）】

＜計画期間：平成30年4月1日から令和6年3月31日まで＞

地域リハビリテーション支援体制の充実

今後の更なる高齢化の進展に伴う地域リハビリテーションの重要性を踏まえ、平成23年度から各地域リハビリテーション支援センターが実施している次の3つを柱とした事業をより充実・強化

地域リハビリテーション関係者の連携強化

地域のリハビリテーション施設、自治体、関係団体等が参画する連絡会を開催し、現状と課題について意見交換や情報共有を行い、地域リハビリテーションに関わる施設等の連携を推進する。

災害時リハビリテーション支援体制の構築

大規模災害発生後、被災者に対する生活不活発病予防、居住環境や福祉用具等の調整などのリハビリテーション支援ができるよう、支援センターを中心に、地域の関係機関と連携し、災害時リハビリテーション支援体制の構築に取り組む。

II 事業目標（令和2年度から令和4年度まで）

地域リハビリテーション支援センターとしての取組方針（全体目標）

・講演会、研修会などのセンター事業を通じ、医療・保健・福祉・介護のあらゆる人々のリハビリテーションに対する知識、理解、そして他職種との連携が深まり、リハビリテーションの立場での活動が推進されることにより、区西南部地域の障害のある人々や高齢者及びその家族が、住み慣れたところでそこに住む人々とともに一生安全にいきいきとした生活が送れるようになることを目指す。

・地域リハビリテーション施設、自治体、関係団体等が参画する連絡会を開催し、現状の課題等について意見交換と情報共有を行い、地域内外の連携強化を促進する。行政区によって取組、体制が異なる面も多いため、自治体担当者が出席する連絡会において情報交換を行うことによって、地域間でのリハ資源の量・質のバラつきを是正に取り組む。また、急性期から回復期へ、回復期から生活期へ、医療から介護へ、そして職種の壁を越え、患者・利用者中心のシームレスな連携が出来る環境づくりを行う。

・ホームページの更新、活用、区西南部地域のリハビリテーション提供機関マップの作成を通じ、いつでも誰でもリハビリテーション資源に対するアクセスできるよう、情報収集・整理・公開に努める。

※各項目の取組目標は次頁以降に記載

II 事業実施内容等（必須の役割） ※全センター共通

スペースが足りない場合は、別紙での説明可

1	地域リハビリテーション力の向上		
	取組目標		
	(1)	渋谷区、目黒区、世田谷区のリハ関連施設とともに医療・介護の壁を越え 自立支援の視点を持った患者・利用者中心のチームアプローチを育み、お互いの連携を深め、前向きに自己研鑽に励めるような環境づくりに取り組む。リハビリテーション提供機関マップの作成やホームページの充実を図り、地域リハに関する情報発信に努める。	
	P T ・ O T ・ S T 等対象の症例発表会など【連携施設の活用可】		
		実施予定回数	テーマ（予定）
	(2)	5 回／令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆年1回、区西南部地域リハビリテーション講演会の開催。地域包括ケア推進に関連するものをテーマとし、地域で働く医療保健介護福祉関連の方々の地域包括ケア推進活動に活用できる知識・情報の提示を行う。 ◆事例検討会（もしくはグループワーク）の開催（2－(2)と重複）各区のネットワークづくりを兼ね、区ごと（世田谷区のみ広域のため区内で2回）に地域の専門職混合での事例検討会を開催。検討会のテーマは各区の幹事にて設定。事例は地域関係者から募る。世田谷区の企画運営は、連携機関である在宅総合ケアセンター成城が担当。
		5 回 (令和 3 ・ 4 年度)	令和2年度と同様
	かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供【連携施設の活用可】		
		実施予定回数	テーマ（予定）
	(3)	1 回／令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆第4回区西南部地域リハビリテーション研究大会の開催。「地域包括ケア」に関する特別講演と区西南部地域の現状と課題を共有する場を提供。 ◆今年度作成するリハビリテーション医療機関マップを医師会事務局を通じ、区西南部医療圏のかかりつけ医へ配布。リハビリテーション資源の情報提供を行う。
	1 回 (令和 3 ・ 4 年度)	令和2年度と同様	
地区医師会や地域の関係団体（医療・介護）との連携・協力予定の有無			
	有 ・ 無	(団体・施設名) 渋谷区医師会、渋谷区歯科医師会、目黒区医師会、世田谷区医師会、玉川医師会	
これまでの取組状況			
(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リハ講演会・研究大会を各1回/年、事例検討会3～4回/年を開催。講演会では広く地域リハに対する知識を得、理解の向上につなげるための場を提供している。事例検討会は区によって参加者の人数にはばらつきがあるものの、他機関と協働した広報を行うことにより、多職種（6～8職種）でのグループ討議が可能となり、多職種理解を深め、かつ、地域におけるネットワークの構築の一助となっていると考えられる。 		

訪問・通所リハビリテーション分野への支援							
(1)	取組目標 生活期を支えるケアマネジャーをはじめ、かかりつけ医や看護職、介護職、その他のサービス事業者（福祉用具業者等）に対して、シームレスな連携が出来る関係作りに取り組む。地域における多職種のチームアプローチの推進に貢献する。						
	リハ施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定【連携施設の活用可】						
(2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施予定回数</th> <th>取組予定内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4回／令和2年度</td> <td>◆事例検討会（もしくはグループワーク）の開催（1－（2）と重複）各区のネットワークづくりを兼ね、区ごと（世田谷区のみ広域のため区内で2回）に地域の専門職混合での事例検討会を開催。検討会のテーマは各区の幹事にて設定。事例は地域関係者から募る。世田谷区の企画運営は、連携機関である在宅総合ケアセンター成城が担当。</td> </tr> <tr> <td>4回 (令和3・4年度)</td> <td>令和2年度と同様</td> </tr> </tbody> </table>	実施予定回数	取組予定内容	4回／令和2年度	◆事例検討会（もしくはグループワーク）の開催（1－（2）と重複）各区のネットワークづくりを兼ね、区ごと（世田谷区のみ広域のため区内で2回）に地域の専門職混合での事例検討会を開催。検討会のテーマは各区の幹事にて設定。事例は地域関係者から募る。世田谷区の企画運営は、連携機関である在宅総合ケアセンター成城が担当。	4回 (令和3・4年度)	令和2年度と同様
	実施予定回数	取組予定内容					
	4回／令和2年度	◆事例検討会（もしくはグループワーク）の開催（1－（2）と重複）各区のネットワークづくりを兼ね、区ごと（世田谷区のみ広域のため区内で2回）に地域の専門職混合での事例検討会を開催。検討会のテーマは各区の幹事にて設定。事例は地域関係者から募る。世田谷区の企画運営は、連携機関である在宅総合ケアセンター成城が担当。					
4回 (令和3・4年度)	令和2年度と同様						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施予定回数</th> <th>取組予定内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8回／令和2年度</td> <td>主には、「移乗動作」「摂食・嚥下・口腔機能」をテーマとする研修を予定。ただし、内容に関しては、区毎の幹事よりニーズを聴取の上、検討を行う。また、各区の専門職団体（移乗研修であれば東京都理学療法士協会の支部、嚥下研修であれば歯科医師会等）とも連携、協働の上での研修の組み立てを行う。世田谷区の企画運営は、連携機関である在宅総合ケアセンター成城が担当。広域であることから区内で同内容の研修を2回実施する予定。ケアマネジャーだけでなく、訪問介護員へも研修対象を広げ、日常関わる訪問介護員への自立支援の意識向上を目指す点は継続とする。</td> </tr> <tr> <td>8～9回 (令和3・4年度)</td> <td>令和2年度と同様</td> </tr> </tbody> </table>	実施予定回数	取組予定内容	8回／令和2年度	主には、「移乗動作」「摂食・嚥下・口腔機能」をテーマとする研修を予定。ただし、内容に関しては、区毎の幹事よりニーズを聴取の上、検討を行う。また、各区の専門職団体（移乗研修であれば東京都理学療法士協会の支部、嚥下研修であれば歯科医師会等）とも連携、協働の上での研修の組み立てを行う。世田谷区の企画運営は、連携機関である在宅総合ケアセンター成城が担当。広域であることから区内で同内容の研修を2回実施する予定。ケアマネジャーだけでなく、訪問介護員へも研修対象を広げ、日常関わる訪問介護員への自立支援の意識向上を目指す点は継続とする。	8～9回 (令和3・4年度)	令和2年度と同様	
実施予定回数	取組予定内容						
8回／令和2年度	主には、「移乗動作」「摂食・嚥下・口腔機能」をテーマとする研修を予定。ただし、内容に関しては、区毎の幹事よりニーズを聴取の上、検討を行う。また、各区の専門職団体（移乗研修であれば東京都理学療法士協会の支部、嚥下研修であれば歯科医師会等）とも連携、協働の上での研修の組み立てを行う。世田谷区の企画運営は、連携機関である在宅総合ケアセンター成城が担当。広域であることから区内で同内容の研修を2回実施する予定。ケアマネジャーだけでなく、訪問介護員へも研修対象を広げ、日常関わる訪問介護員への自立支援の意識向上を目指す点は継続とする。						
8～9回 (令和3・4年度)	令和2年度と同様						
ケアマネジャーへの研修【連携施設の活用可】							
2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施予定回数</th> <th>取組予定内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8回／令和2年度</td> <td>主には、「移乗動作」「摂食・嚥下・口腔機能」をテーマとする研修を予定。ただし、内容に関しては、区毎の幹事よりニーズを聴取の上、検討を行う。また、各区の専門職団体（移乗研修であれば東京都理学療法士協会の支部、嚥下研修であれば歯科医師会等）とも連携、協働の上での研修の組み立てを行う。世田谷区の企画運営は、連携機関である在宅総合ケアセンター成城が担当。広域であることから区内で同内容の研修を2回実施する予定。ケアマネジャーだけでなく、訪問介護員へも研修対象を広げ、日常関わる訪問介護員への自立支援の意識向上を目指す点は継続とする。</td> </tr> <tr> <td>8～9回 (令和3・4年度)</td> <td>令和2年度と同様</td> </tr> </tbody> </table>	実施予定回数	取組予定内容	8回／令和2年度	主には、「移乗動作」「摂食・嚥下・口腔機能」をテーマとする研修を予定。ただし、内容に関しては、区毎の幹事よりニーズを聴取の上、検討を行う。また、各区の専門職団体（移乗研修であれば東京都理学療法士協会の支部、嚥下研修であれば歯科医師会等）とも連携、協働の上での研修の組み立てを行う。世田谷区の企画運営は、連携機関である在宅総合ケアセンター成城が担当。広域であることから区内で同内容の研修を2回実施する予定。ケアマネジャーだけでなく、訪問介護員へも研修対象を広げ、日常関わる訪問介護員への自立支援の意識向上を目指す点は継続とする。	8～9回 (令和3・4年度)	令和2年度と同様
	実施予定回数	取組予定内容					
8回／令和2年度	主には、「移乗動作」「摂食・嚥下・口腔機能」をテーマとする研修を予定。ただし、内容に関しては、区毎の幹事よりニーズを聴取の上、検討を行う。また、各区の専門職団体（移乗研修であれば東京都理学療法士協会の支部、嚥下研修であれば歯科医師会等）とも連携、協働の上での研修の組み立てを行う。世田谷区の企画運営は、連携機関である在宅総合ケアセンター成城が担当。広域であることから区内で同内容の研修を2回実施する予定。ケアマネジャーだけでなく、訪問介護員へも研修対象を広げ、日常関わる訪問介護員への自立支援の意識向上を目指す点は継続とする。						
8～9回 (令和3・4年度)	令和2年度と同様						
(3)	地区医師会や地域の関係団体（医療・介護）との連携・協力予定の有無						
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>有・無</td> <td>(団体・施設名) 渋谷区福祉部高齢者福祉課、渋谷区ケアマネジャー連絡協議会、渋谷区訪問看護ステーション連絡協議会、東京都理学療法士協会渋谷支部、目黒区健康福祉部福祉総合課、目黒区碑文谷保健センター、目黒区介護事業者連絡会・ケアマネジャー分科会、世田谷区保健福祉部調整・指導課、世田谷ケアマネジャー連絡会、世田谷区訪問看護ステーション管理者会、世田谷区介護サービスネットワーク、東京都理学療法士協会世田谷支部、世田谷区リハビリテーション連絡会、世田谷区福祉人材育成・研修センター</td> </tr> </tbody> </table>	有・無	(団体・施設名) 渋谷区福祉部高齢者福祉課、渋谷区ケアマネジャー連絡協議会、渋谷区訪問看護ステーション連絡協議会、東京都理学療法士協会渋谷支部、目黒区健康福祉部福祉総合課、目黒区碑文谷保健センター、目黒区介護事業者連絡会・ケアマネジャー分科会、世田谷区保健福祉部調整・指導課、世田谷ケアマネジャー連絡会、世田谷区訪問看護ステーション管理者会、世田谷区介護サービスネットワーク、東京都理学療法士協会世田谷支部、世田谷区リハビリテーション連絡会、世田谷区福祉人材育成・研修センター				
有・無	(団体・施設名) 渋谷区福祉部高齢者福祉課、渋谷区ケアマネジャー連絡協議会、渋谷区訪問看護ステーション連絡協議会、東京都理学療法士協会渋谷支部、目黒区健康福祉部福祉総合課、目黒区碑文谷保健センター、目黒区介護事業者連絡会・ケアマネジャー分科会、世田谷区保健福祉部調整・指導課、世田谷ケアマネジャー連絡会、世田谷区訪問看護ステーション管理者会、世田谷区介護サービスネットワーク、東京都理学療法士協会世田谷支部、世田谷区リハビリテーション連絡会、世田谷区福祉人材育成・研修センター						

2	ケアプラン相談支援【連携施設の活用可】	
	(4)	相談受付方法
		相談受付日・時間
		日常的な相談について電話で受け付けている。
		随時受け付け 月～土 9:00～17:00
(5)	これまでの取組状況	
	<ul style="list-style-type: none"> ・当病院を利用（入院・外来・訪問・通所）している患者、もしくは利用相談のあった住民に対し、利用者の担当ケアマネジャーと、個別に相談を実施。 	
	平成31年度・令和元年度上半期（4月～9月）のケアプラン相談支援受付実績	
	<ul style="list-style-type: none"> ・退院患者 385名 ・外来・訪問・通所患者のケアプラン相談支援受付数は把握できていない。 	

3	地域リハビリテーション関係者との連携強化		
	(1)	取組目標	
		区毎に、行政担当者、介護保険事業所の代表者、リハビリテーション関連専門職団体の代表者が集い、地域リハビリテーションの推進の為に協議できる場をもつことが出来る	
	(2)	設置を予定する地域協議会（連絡会）	
		名称	参加予定機関・施設（参加予定職種）
	区西南部地域リハ支援センター 幹事会（3区合同）	別紙（03-2事業計画添付資料Ⅱ-3-(2)①（幹事名簿）及び、Ⅱ-3-(2)②（渋谷区幹事名簿）同③（目黒区幹事名簿）同④（世田谷区幹事名簿）参照	10回／令和2年度
	区西南部地域リハ支援センター 渋谷区／目黒区／世田谷区幹事会		30回（3年間計）
(3)	これまでの取組状況		
	これまでの活動の中で、幹事会にて事業内容の検討・企画・運営を行っていくことについては徐々に地域関係機関にも定着してきた。ただし、2次医療圏は広域であり、地域ニーズに密着した活動を展開するのであれば、区単位での幹事会の実施が必要と思われたが、各区での幹事会の設定は連携施設がある世田谷区の実施に留まっていた。来期においては、渋谷区、目黒区においても区単位での幹事会の実施が出来ないか、現在各団体へ来年度以降のスタッフ派遣について打診をしている。		

Ⅲ 事業実施内容等（選択する役割）	スペースが足りない場合は、別紙での説明可
--------------------------	----------------------

1	区市町村による在宅リハ支援事業等への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可	
	支援予定	実施自治体名
	有	
	無	
	支援内容	
	これまでの取組状況	

脳卒中医療連携推進事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可				
2	支援予定	支援内容		
	有 <input type="radio"/> 無			
	これまでの取組状況			
高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ※地域リハ支援事業委託料からの支出不可				
3	支援予定	支援内容		
	有 <input type="radio"/> 無			
	これまでの取組状況			
地域で特にニーズの高いテーマに関する研修等（その1）				
4	区分		実施予定	予定有とした項目については次頁も記入
	(1)	地域のリハビリテーション従事者の研修、援助	有 ・ <input type="radio"/> 無	
	(2)	直接地域住民と接する相談機関の支援	有 ・ <input type="radio"/> 無	
	(3)	福祉用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援	有 ・ <input type="radio"/> 無	
	(4)	地域の関係団体の支援	有 ・ <input type="radio"/> 無	
	(5)	連絡会、事例検討会の実施	<input type="radio"/> 有 ・ 無	
	(6)	その他、地域のリハビリテーションの推進に必要な事業	有 ・ <input type="radio"/> 無	

地域で特にニーズの高いテーマに関する研修等（その2）				
(1)	地域のリハビリテーション従事者の研修、援助			
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象
				実施予定回数 回 (3年間)
これまでの取組状況				
(2)	直接地域住民と接する相談機関の支援			
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象
				実施予定回数 回 (3年間)
これまでの取組状況				
(3)	福祉用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援			
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象
				実施予定回数 回 (3年間)
これまでの取組状況				
(4)	地域の関係団体の支援			
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象
				実施予定回数 回 (3年間)
これまでの取組状況				
(5)	連絡会、事例検討会の実施			
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象
	区西南部地域においては、回復期リハ病棟の連絡会がなく、情報共有が乏しい	回復期リハ病棟連絡会の設置	連絡会立ち上げに向けた初回会合の実施	区西南部内の回復期リハ病棟 全10病棟
				実施予定回数 3回 (3年間)
これまでの取組状況				
令和元年7月に、第1回会合を実施。令和2年2月に第2回会合（予定）を経て、連絡会設置への機運を高めた上で、立ち上げに向けて具体的に動いていく段階。				
(6)	その他、地域のリハビリテーションの推進に必要な事業			
	把握したニーズの内容	設定した課題	支援内容	対象
				実施予定回数 回 (3年間)
これまでの取組状況				

I：事業実施体制

7. 協力施設 添付書類

	協力施設名称	所在地	連携内容
1	国家公務員共済組合連合会 三宿病院	目黒区上目黒 5-33-12	事業内容（講演会、研修会等）の検討、承認 講演会の運営補助 事例検討会におけるファシリテーター派遣
2	ナースステーション東京 目黒支店	目黒区目黒 1-5-4-101	事業内容（講演会、研修会等）の検討、承認 事例検討会におけるファシリテーター派遣
3	日産厚生会玉川病院	世田谷区瀬田 4-8-1	事業内容（講演会、研修会等）の検討、承認 世田谷区における研修会の会場提供、研修会運営
4	百瀬歯科医院	世田谷区砧 3-6-13	事業内容（講演会、研修会等）の検討、承認 研修会の講師、運営補助
5	三軒茶屋リハビリテーション クリニック	世田谷区下馬 2-20-11	事業内容（講演会、研修会等）の検討、承認
6.	J R 東京総合病院	渋谷区代々木 2-1-3	事業内容（講演会、研修会等）の検討、承認